

414  
A3465



八百七十八年二月十二日 横濱「チャップマン」ヘラルド新聞

大正十一年四月  
贈 郵 寄 限 大

熟ラ往年ヲ回顧シ来レハ今ヨリ殆ンドニケ年以前ニ當リ日本  
政府ハ銀行條例ヲ改正シテ以テ國立銀行ヲシテ其発行セル銀  
行紙幣ノ交換ニ充ツルニハ金貨ヲ備ユルニ及ハサル旨ヲ命ス  
ルニ臨ミ大藏卿ハ一篇ノ諭告書ヲ出シ以テ凡ソ日本國民タル  
モノハ日常取引ノ際外國銀行ノ紙幣ヲ受取ルハ精々注意ス  
ベシ抑モ此紙幣ノ如キハ若シ其銀行破産閉店スルニ及ンテハ  
其紙幣ヲ交換スルニ道ナリ實ニ莫大ノ損害ヲ醸スノ恐レアル  
事。已ナラス其資本ト云ヒ其責任ト云フモ日本政府ノ得テ知ル  
ベカラサルモノタルヲ示セリ  
然ルニ内閣ノ國立銀行ノ如キハ須ラク日本政府ノ官許ヲ得テ  
創立セシモノタレヲ以テ何時ニ發行紙幣ヲ以テ交換ヲ乞フ



アルモ其需メニ應セサルノ恐レナキ旨ヲ信セシメントテ若望セリ。

蓋シ大蔵卿ノ命ヲ奉シテ当縣ノ權令野村靖君ハ千八百七十六年六月三日ヲ以テ前段全様ノ諭告書ヲ出セリ是ヲ以テ外國銀行四家ノ内三家ハ断然取引上ニ於テ日本銀行ノ發行紙幣ヲ受

取ルイテ拒ムニ至リタリ

斯クノ如クスルノ若干日ナリシカ之レガ為メニ銀行ハ白ヤク

取引上ニ於テ不便ヲ生マシト必ナカラサリシヲ以テ右三家ノ

支配人ガ一旦斯ル苛刻ノ規程ヲ設ケシモ漸々弛緩スル所トナ

リ遂ニ日本銀行ノ紙幣ヲ受取ルノ右諭告書ヲ布シサリシ以前

ト全一タルニ至レリ

然ルニ近頃日本諸銀行ノ内某銀行ニ於テハ目今其發行紙幣(按

スルニ洋銀券ノナラン)ヲ受取ルハ決シテ再ヒ之レヲ出シテ

ハ他ノ關係アル或ル銀行(香港并上海銀行ナラン)ニ於

流通セザル紙幣ヲ差出シタルハ一應掛合テ之ヲ受取ルトナレリ

是ニ由テ之レヲ觀レバ此銀行ニ於テハ其發行紙幣所有人ノ需

ニ應レ何時モ之レヲ交換スルニ足ルベキ洋銀ヲ所持セサルヤ

明ラカナリ然リ而シテ右三家ノ支配人ガハ假令歩洋ノ減價

ヲ以テ札(按スルニ日本政府ノ諸紙幣ヲ指スナラン)ヲ交換セン

トテ其速キ其責任ヲ蒙ルベシ

ノ勢アルヤ明了ナリ但シ其豫備スル所ノ洋銀ハ其發行紙幣

不時ノ交換ニ應マレトスレハヤ固ヨリ時運ノ斯ノ如キ形勢

ニ至ル所以ノモノハ大蔵卿ガ全ク無用有害ノ諭告書ヲ出セシ

ニ因ルモノニシテ大方ノ嘲笑ヲ免レサルモノナリ

試ニ看ヨ外國銀行ハ一トシテ此諭告書發行以來未タ一回タリ

其發行紙幣ノ交換ニ差支ヘタルノ之レナキナリ

熟テ事蹟ニ就テ之レヲ觀レハ總ノ諭告書ハ殆ント日本ノ兩銀

義首

行ノ為メニ設クルモノ、如シ  
大藏卿ハ深ク其國民ノ公益ヲ謀リ細心思慮スルノ人タリト聞  
ク故ニ吾輩新聞記者ノ望ム所ハ大隈公ト野村君トガ目下更ニ  
布達ヲ發シテ正シキ馬ニ鞍ヲ置カン<sup>ト</sup>ヲ<sup>ト</sup>按スルニ覆轍ヲ踐ム  
勿レノ意ナラン<sup>ト</sup>是レ又吾輩記者ノ権理タルヲ保ツ所ナリ其然  
ル所以ノハ他ナシ孰其實際ニ就テ回顧スレハ外國銀行ノ  
事ハ暫ク今日ノ論スベキモノニアラス獨リ日本銀行ニ就テ  
論スレハ其内一銀行ハ既ニ其發行紙幣ノ交換ニ應スルノ難キ  
ヲ以テ大ニ人民ノ信ヲ破リタルヲ照々掩フヘカラサルナ  
リ  
今吾輩記者<sup>ト</sup>此主旨ヲ大隈公ニ賛議シテ以テ全公ノ即時ニ注  
目アラントヲ望ムナリ

天正十一年四月  
天正十一年四月  
天正十一年四月

志  
志

千八百七十八年二月十二日横濱「ヂヤツパン」ヘラルド新聞

抄訳

熟<sup>ク</sup>往年ヲ回顧シ求レバ今ヨリ殆ンドニヶ年以前ニ当リ日本  
政府ハ銀行條例ヲ改正シテ以テ國立銀行ヲシテ其發行セル銀  
行紙幣ノ交換ニ充ツルニハ金貨ヲ備ユルニ及バゴル旨ヲ命ス  
ルニ臨ミ大藏卿ハ一篇ノ論告書ヲ出シ以テ凡ソ日本國民タル  
モノハ日常取引ノ際外國銀行ノ紙幣ヲ受取ルルハ精々注意ス  
ベシ抑モ此紙幣ノ如キハ若シ其銀行破産閉店スルニ及ンデハ  
且紙幣ヲ交換スルニ道ナク實ニ莫大ノ損害ヲ醸スノ恐レアル  
高己ナラス其資本ト云ヒ其責任ト云フモ日本政府ノ得テ知ル  
ベカラザルモノタルヲ示セリ  
然ルニ内國ノ國立銀行ノ如キハ須ラク日本政府ノ官許ヲ得テ  
創立センモノタルヲ以テ何時其發行紙幣ヲ以テ交換ヲセフ

大藏  
人

アルモ其需メニ應マザルノ恐レナキ旨ヲ信セシメントテ右望  
セリ。  
蓋シ大蔵卿ノ命ヲ奉レテ当縣ノ權令野村靖君ハ千八百七十六  
年六月三日ヲ以テ前段全様ノ諭告書ヲ出セリ是ヲ以テ外國銀  
行四家ノ内三家ハ断然取引エニ於テ日本銀行ノ發行紙幣ヲ受  
取ル。トテ拒ムニ至リタリ  
斯クノ如クスル。ト若干日ナリシガ之レガ為メニ銀行等日々ノ  
取引上ニ不便ヲ生セシ。ト以テカラザリシヲ以テ右三家ノ  
支配人等一旦斯ル苛刻ノ規程ヲ設ケシモ漸々弛緩スル所トナ  
リ遂ニ日本銀行ノ紙幣ヲ受取ル。ト右諭告書ヲ出シ。ガリシ以前  
ト全一タルニ至レリ  
然ルニ近頃日本諸銀行ノ内某銀行ニ於テハ目今其發行紙幣(按  
スルニ洋銀券ノ一ツヲラシ)ヲ受取レバ決シテ再ヒ之レヲ出シテ

流通セシメス

是ニ由テ之レヲ觀レバ此銀行ニ於テハ其發行紙幣所有人ノ需  
ニ應レ何持モ之レヲ交換スルニ足ルベキ洋銀ヲ所持セザルヤ  
明ラカナリ然リ而シテ右三家ノ支配人ボハ仮令六歩半ノ減  
價ヲ以テ札(按スルニ日本<sup>改</sup>諸紙幣ヲ指スナラシ)ヲ交換セン。ト  
テ乞フモ。アルモ洋銀ヲ以テ此札ヲ買入レル。トテ好マザルノ  
勢アルヤ明了ナリ但シ其ノ預備スル所ノ洋銀ハ其發行紙幣ノ  
不時ノ交換ニ應セントスレバナリ固ヨリ時運ノ斯ノ如キ形勢  
ニ至ル所以ノモノハ大蔵卿ガ全ク無用有害ノ諭告書ヲ出セシ  
ニ因ルモノニシテ大方ノ嘲笑ヲ免レザルモノナリ  
試ニ看ヨ外國銀行ハ一トシテ此諭告書發行以來未タ一回タリ  
ニ其發行紙幣ノ交換ニ差支<sup>テ</sup>アル。ト之レナキナリ  
熟ク事蹟ニ就テ之レヲ觀レバ嚮ノ諭告書ハ殆んど日本ノ恒銀

行ノ為メニ設クルモノ、如シ

大蔵卿ハ深ク其國民ノ公益ニ誅リ細心思慮スルノ人タリト聞ク故ニ吾輩新聞記者ノ望ム所ハ大隈公ト野村君トガ目下更ニ布達ヲ發シテ正レキ馬ニ鞍ヲ置カン<sub>ト</sub>ラ<sub>ト</sub>按スルニ覆轍ヲ踐ム勿レノ意ナラン是レ又吾輩記者ノ権理タルヲ保ツ所ナリ其然ル所以ノモノハ他ナシ熟ラ其實際ニ就テ回顧スレバ外國銀行ノ事ハ暫ラク今日ノ論スベキモノニアラス獨リ日本銀行ニ就テ論スレバ其内一銀行ハ既ニ其発行紙幣ノ交換ニ應スルノ難キヲ以テ大ニ人民ノ信ヲ破リタル<sub>ト</sub>照々掩フベカラザルナリ

今吾輩記者ハ此主旨ヲ大隈公ニ賛議シテ以テ全公ノ即時ニ注目アラントラ望ムナリ